

Web 審査会システム構築・運用支援委託  
基本仕様書

令和 8 年 5 月

練馬区福祉部障害者サービス調整担当課

## 1 作業の概要

### 1.1 目的

練馬区（以下、「区」という）では、障害支援区分に関する審査および判定を実施するため、障害者給付審査会を設置している。審査会委員は計50名で構成され、5名ずつ10の合議体が編制されている。

現在、審査会資料は、個人情報に墨塗りした紙媒体の資料を使用し、審査会委員に個別に郵送している。審査会終了後、使用した審査会資料は区が送付したレターパックで返送されている。

また、審査会はZoomを用いたオンライン形式で実施し、審査会委員は、各自の端末を使用して参加している。審査会委員が使用する端末機器および回線の差が原因と思われる接続不良や操作トラブルが生じている状況がある。

審査会の運営に当たっては、審査会資料準備等に関連する事務作業が事務局職員の負担となっており、常に郵便事故のリスクも伴っている。

以上のことから、資料の共有とWeb会議が単一のソフト内で一体的に利用できるWeb審査会システムを導入することにより、審査会の安定した開催、セキュリティの強化、審査会委員および事務局職員の負担軽減を図ることを目的とする。

### 1.2 用語の定義

- (1) 障害支援区分（以下、区分という。）

障害者総合支援法に基づき、障害のある方が日常生活や社会生活で必要とする支援の度合いを、1から6の6段階で客観的に判定する指標。

- (2) 障害者給付審査会（以下、審査会という。）

障害者総合支援法に基づき、障害福祉サービス（介護給付）を利用する際に必要な区分の審査・判定を中立・公平に行う市町村の附属機関。

- (3) 審査会委員（以下、委員という。）

区から委嘱され、審査会にて、区分の審査・判定を行う者。

- (4) 審査会事務局（以下、事務局という。）

審査会の運営および事務作業等を行う区の担当部署。障害者サービス調整担当課障害審査係が担当している。

- (5) 個人情報

個人情報保護法に定義された個人情報および審査会資料に含まれる個人識別につながる情報を含むものとする。

- (6) 端末認証

区が事前登録した当該端末からのアクセスのみを許可する方式をいう。

- (7) Web審査会システム

審査会の安定した開催、セキュリティの強化、審査会委員および事務局職員の

負担軽減のため、資料の共有とWeb会議が一体的に利用できるシステムとする。

### 1.3 対象業務の概要

#### (1) 審査会開催日時設定

該当する委員および事務局のみが参加できるWeb審査会の開催日時を設定する。

#### (2) 審査会資料等の事前共有

審査会開催日より前に、一定期間、該当する委員および事務局のみが審査会情報や審査会資料（以下、審査会資料等という。）を閲覧できるようにする。

#### (3) 審査会の開催

共有した審査会資料を閲覧しながら、Web審査会を開催する。

#### (4) 審査会資料等の自動削除

審査会終了後、審査会資料等は自動的に削除され、該当する委員からも閲覧できないようにする。審査会資料等の削除は復元不可能な消去により不可逆化されること。

### 1.4 Web審査会システム化の範囲

本調達では「1.3 対象業務の概要」をWeb審査会システム化の主な対象とし、本仕様書の他の項目に記載される内容も網羅するものとする。

### 1.5 作業内容

Web審査会システムの構築等一式：本調達において要件を満たすWeb審査会システムの構築、セットアップ作業、運用保守業務。

なお、本調達では、ハードウェアの調達は行わないものとするが、ハードウェアの調達に必要な支援、ハードウェアのオペレーティングシステム設定、Web審査会システム環境構築、インストールおよび動作確認等、キオスク化設定等の必要な作業を受託者は行うものとする。

### 1.6 履行期間

契約締結日の翌日から令和9年3月31日まで

### 1.7 履行場所

区が指定する場所

## 2 委託内容

### 2.1 Web審査会システムの仕様

(1) Web会議と資料共有の両方の機能を単一のソフト内で一体的に利用できること。

また、Web会議中、委員および事務局がタブレット型端末上で審査会資料等のデータを閲覧できること。

- (2) Web審査会システムは、サーバーのメンテナンス時間を除き、原則として24時間365日の運用・利用を実現すること。
- (3) 必要に応じて資料の差替えや追加が随時行えること。
- (4) 審査会資料には手書き等でメモを書き込むことができ、当該メモはWeb審査会システム上で保存・管理できること。
- (5) 審査会開催時には、タブレット型端末で各委員および事務局が画面上で互いを見ながら会話ができること。
- (6) 審査会終了の一定期間後に、審査会資料等は自動的に削除されること。審査会資料等の削除は復元不可能な消去により不可逆化されること。
- (7) 審査会資料等のほか、各委員への事務連絡の送付ならびに、アンケートの実施およびその回収についてもWeb審査会システム上で行えるようにすること。
- (8) Web審査会システムのバージョンアップ版の提供がある場合、アップ版の提供およびサーバー側の導入作業を実施すること。区に対し、バージョンアップリリース前に、変更内容を連絡すること。バージョンアップ作業を実施するにあたり、Web審査会システムの利用に影響が生じる場合は、区と協議して行うこと。
- (9) Web審査会システムの同時接続数、ユーザー登録数、端末登録数は、下記のとおりとする。
  - ア 同時接続数：11
  - イ ユーザー登録数：56
  - ウ 端末登録数：56
- (10) サービスの停止等の重大な障害が生じた場合、復旧の目標は8時間以内とし、その際の担当者連絡票をあらかじめ提示すること。

## 2.2 機器の設定、運用支援

- (1) 令和9年1月上旬からWeb審査会システムの利用を開始できるよう、ハードウェアのオペレーティングシステム設定、Web審査会システム環境構築、インストールおよび動作確認等、キオスク化設定、操作研修、通信回線の動作確認およびその他テストを完了すること。
- (2) タブレット等機器については、区が調達したものを使用し、Web審査会システム以外の使用を制限するための設定（いわゆるキオスク化）を実施すること。
- (3) 委員用及び事務局用の操作マニュアル等、ドキュメント作成をすること。納品はデータ、およびユーザー登録数の56部（内訳：委員用50部、事務局用6部）とし、作成費用や送料等、必要経費は見積もりに含めること。
- (4) Web審査会システムの障害発生等の緊急時に、連絡対応等が可能な体制とするこ

と。不正アクセス、情報漏えいおよびウイルス感染等に対するセキュリティ対策を行うこと。

- (5) 端末の再設定が必要となる場合は、事前に内容を提示して区の承諾を得てから作業すること。
- (6) 端末の修理や故障が発生した際は、代替端末に対し、1.5「作業内容」に掲げる作業を実施の上、納品すること。

## 2.3 通信回線

- (1) Web審査会を円滑に進行できる通信規格とする。（参考：4G/LTE回線等）
- (2) 回線数、通信容量は以下を基準とする。ただし、コスト削減が図れると思われる方法がある場合は、提案として記載すること。
  - ア タブレット端末用SIM 5GB以上 45回線（枚）
  - イ タブレット端末用SIM 50GB以上 10回線（枚）
  - ウ ノートPC用SIM 50GB以上 1回線（枚）
- (3) Web審査会システムは、一般的なインターネット接続環境（ベストエフォート型）において、不具合なく利用できること。なお、参考として、下り2Mbps以上、上り1Mbps以上の通信環境での利用を想定する。
- (4) SIMカードの納品にあたっては、製造番号と電話番号が紐づいた一覧表を用意し、提供すること。
- (5) SIMカードの紛失が発覚した場合は、紛失したSIMカードの利用停止、代わりとなるSIMカードの提供等の対応を迅速に行うこと。SIMカードの破損、水没等が発生した際も、同様の対応を行うこと。ただし、SIMカード紛失時等における再発行手数料は区負担とする。

## 3 稼働環境要件

### 3.1 ネットワーク環境

- (1) Web審査会システムは、インターネットを介して利用するクラウド型（SaaS型）であること。
- (2) 利用者端末とWeb審査会システム間の通信は、VPN接続を前提としない方式とし、SSL/TLS等により常時暗号化されていること。第三者による盗聴、改ざん、なりすまし等の不正アクセスを防止する措置が講じられていること。
- (3) アクセスログを保存し、区の要請に応じて提出できること。または、区において、アクセスログの取得、エクスポート等が可能な機能を有すること。
- (4) Web審査会システムは、IDおよびパスワードによる認証に加え、端末認証等を組み合わせた認証方式を採用し、あらかじめ認証された端末以外からのアクセスを制限できること。

### 3.2 データセンター要件

- (1) Web審査会システムで取り扱うデータ（審査会資料、付随情報等）は、日本国内に設置されたデータセンターにおいて保管・管理されること。保管されるデータは暗号化等、安全に保管・管理される対策が講じられていること。
- (2) データセンターは、日本国内の法令の適用を受けること。
- (3) データセンターは、安定的なサービス提供のため、電源・空調・通信回線等について冗長構成が講じられていること。
- (4) 地震・火災等の災害を想定した防災・被災対策が講じられていること。
- (5) データセンターにおいて、Web審査会システムおよびデータの管理・運用に関する体制が整備されていること。
- (6) データの消失・破損に備え、データセンターにおいて適切なバックアップおよび保全措置が講じられていること。データの消失・破損があった場合は、直ちに区に報告すること。

## 4 運用・保守要件

- (1) サーバーの稼働状況や通信状況の監視、障害発生時の検知および復旧対応等について、適切な運用管理が行われる仕組みを有すること。
- (2) サーバー、ソフトウェア等に、不正アクセスや異常、脆弱性が判明した場合は、速やかに区へ報告し、対応方針を協議のうえ適切な対策を実施すること。
- (3) 必要に応じて関係する事業者と連携し、影響調査、修正プログラム適用、設定変更を行うこと。
- (4) システムについての問い合わせは、平日 9 時から 21 時まで対応可能な人員を配置すること。

## 5 教育・研修要件

- (1) Web審査会システムを使用する区職員等に対し、操作研修を 1 回以上実施すること。
- (2) 操作研修の日時は区と協議し、区が指定する場所にて、区職員等に対して実施するものとする。また、操作研修後の問い合わせについても、適宜対応すること。
- (3) 研修はWeb審査会システムに精通している者が実施すること。
- (4) 研修に要するすべての費用は見積りに含むこと。
- (5) 研修に使用する教材の形態、部数、配布方法は、2.2(3)に掲げるものを原則とし、操作研修までに区と協議の上、決定すること。
- (6) 委員および事務局が、Web審査会システムの基本操作等が分かる研修内容を、確

認または視聴できるマニュアル等が提供できること。

## 6 体制

### 6.1 作業体制

- (1) 受託者は、主任担当者を置き、本業務受託後、区との連絡調整および各種調査、会議への出席等の業務を中心的に遂行すること。
- (2) 本事業に適した知識、経験、実績を持つ者を配置すること。
- (3) 区は、障害者サービス調整担当課長を統括責任者とし、障害審査係長および係職員を実務担当および問い合わせ窓口とする。

### 6.2 セキュリティ管理

- (1) 「練馬区情報セキュリティに関する要綱」（別紙5）の内容を理解し、遵守すること。
- (2) セキュリティに関する事故および障害等が発生した場合には、速やかに区に報告し、対応策について、協議すること。
- (3) セキュリティ事故発生時は、受託者は当該事故の発生を認知した時点から24時間以内に初動報告を区へ行い、72時間以内に詳細報告を提出すること。原因分析と再発防止策を含む最終報告は30日以内に提出すること。
- (4) プライバシーマークの認証、または情報セキュリティマネジメントシステムの認証を取得すること。
- (5) 個人情報漏洩等のセキュリティ事故に備えて、保険に加入していること。

### 6.3 スケジュール

令和9年1月上旬からシステムの利用を開始できるよう、ハードウェアのオペレーティングシステム設定、Web審査会システム環境構築、インストールおよび動作確認等、キオスク化設定、操作研修、通信回線の動作確認およびその他テストを完了すること。

## 7 支払方法

毎月、履行確認後、受託者の適法な請求を受けてから速やかに支払う。

## 8 特記事項

- (1) 個人情報および受託業務を履行するに当たり知り得た区の情報の取扱いについては、「情報の保護および管理に関する特記事項（令和7年12月版）」（別紙6）を遵守すること。
- (2) 本仕様書に記載のない事項または疑義が発生した場合は、速やかに区と協議を行い、履行すること。

## 9 担当

練馬区 福祉部 障害者サービス調整担当課 障害審査係 小森・菊川

E-mail : SHOGAISISAKU05@city.nerima.tokyo.jp

電 話 : 03-5984-2719